

正誤表（達成状況評価）

66：山口大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p.6	(A)【3つのポリシーの検証】 改訂定したディプロマ・ポリシーの認知度・理解度を・・・	(A)【3つのポリシーの検証】 <u>改訂</u> したディプロマ・ポリシーの認知度・理解度を・・・	誤字があったため
02	p.6	・・・シラバスにアクティブ・ラーニングの内容の明記し、全体の講義に対する・・・	・・・シラバスにアクティブ・ラーニングの <u>内容を明記</u> し、全体の講義に対する・・・	誤字があったため
03	p.12	・・・参加した学生の中から、企業の知的財産分野への就職した例もあり、・・・	・・・参加した学生の中から、企業の <u>知的財産分野へ就職</u> した例もあり、・・・	誤字があったため
04	p.20	・・・また、教育学研究科実践高度化専攻では2017年度（H29）から3年連続で教員就職率100%を達成するなど、・・・	・・・また、教育学研究科 <u>教職実践高度化専攻</u> では2017年度（H29）から3年連続で教員就職率100%を達成するなど、・・・	脱字があったため
05	p.33	②「ラーニング・アドバイザー養成講座」を2017年度（H29）に創設し、これまで21人に認定証を授与した。	②「ラーニング・アドバイザー養成講座」を2017年度（H29）に創設し、これまで <u>24人</u> に認定証を授与した。	p.40の表〔ラーニング・アドバイザー養成講座受講者数〕における（ ）内数値の合計数と齟齬があるため

正誤表（達成状況評価）

06	p.56	<p>・国際総合科学部では、4年間の教育成果を、デュプロマ・ポリシーの到達度を可視化する山口大学能力基盤型カリキュラムシステム（YU CoB CuS）で判定した結果、アドミッション・ポリシーとして入学時に求めた資質能力をもとに、デュプロマ・ポリシーで規定した資質能力に繋げるカリキュラムが実施できていることが確認できた。</p>	<p>・国際総合科学部では、4年間の教育成果を、<u>デュプロマ・ポリシー</u>の到達度を可視化する山口大学能力基盤型カリキュラムシステム（YU CoB CuS）で判定した結果、アドミッション・ポリシーとして入学時に求めた資質能力をもとに、<u>デュプロマ・ポリシー</u>で規定した資質能力に繋げるカリキュラムが実施できていることが確認できた。</p>	誤字があったため
07	p.57	<p>・・・4年間の教育成果を、デュプロマ・ポリシーの到達度を可視化する山口大学能力基盤型カリキュラムシステム（YU CoB CuS）で判定した結果、アドミッション・ポリシーとして入学時に求めた資質能力をもとに、デュプロマ・ポリシーで規定した資質能力に繋げるカリキュラムが実施できていることが確認できた。</p>	<p>・・・4年間の教育成果を、<u>デュプロマ・ポリシー</u>の到達度を可視化する山口大学能力基盤型カリキュラムシステム（YU CoB CuS）で判定した結果、アドミッション・ポリシーとして入学時に求めた資質能力をもとに、<u>デュプロマ・ポリシー</u>で規定した資質能力に繋げるカリキュラムが実施できていることが確認できた。</p>	誤字があったため
08	p.60	<p>・・・紙媒体の志願票を電子化する作業と比較すると、受け渡すデータの入力ミス等について完全に防止できるようになった。</p>	<p>・・・紙媒体の志願票を電子化する作業と比較すると、受け渡すデータの<u>入力ミス等</u>について完全に防止できるようになった。</p>	脱字があったため
09	p.61	<p>・・・研究拠点の一つである中高温微生物研究センターは、国内外との研究機関との共同研究を推進し、・・・</p>	<p>・・・研究拠点の一つである中高温微生物研究センターは、<u>国内外の研究機関</u>との共同研究を推進し、・・・</p>	誤字があったため

正誤表（達成状況評価）

10	p.63	<p>山口県における自然、文化、歴史、産業、環境、流通、教育等の地域特性に応じた分離融合研究を推進し、地方創生に寄与する「山口学研究プロジェクト」を実施している。</p>	<p>山口健における自然、文化、歴史、産業、環境、流通、教育棟の地域特性に応じた<u>文理</u>融合研究を推進し、地方創生に寄与する「山口学研究プロジェクト」を実施している。</p>	誤字があったため																														
11	p.67	<p>生命医工学センターは、医学及び生命科学と工学の幅広い連携を進め、心疾患治療機器開発のための心臓循環系の数理シミュレーションモデルの構築、・・・</p>	<p>生命医工学センターは、医学及び生命科学と工学の幅広い連携を進め、心疾患治療機器開発のための心臓循環系の数理<u>シミュレーションモデル</u>の構築、・・・</p>	誤字があったため																														
12	p.81	<p>・・・Webでの利用案内を継続して行うことで、中国地方国立大学からの各種受託解析の依頼が増加し、利用料収入も増加した。</p> <p>〔研究機器の学外利用状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">省略</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国地方国立大学</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> <tr> <td>その他大学・企業等</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> </tbody> </table>	区分		省略	中国地方国立大学	件数		金額（千円）	その他大学・企業等	件数		金額（千円）	合計	件数		金額（千円）	<p>・・・Webでの利用案内を継続して行うことで、<u>中国地区</u>国立大学からの各種受託解析の依頼が増加し、利用料収入も増加した。</p> <p>〔研究機器の学外利用状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">省略</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>中国地区</u>国立大学</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> <tr> <td>その他大学・企業等</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額（千円）</td> </tr> </tbody> </table>	区分		省略	<u>中国地区</u> 国立大学	件数		金額（千円）	その他大学・企業等	件数		金額（千円）	合計	件数		金額（千円）	誤字があったため
区分		省略																																
中国地方国立大学	件数																																	
	金額（千円）																																	
その他大学・企業等	件数																																	
	金額（千円）																																	
合計	件数																																	
	金額（千円）																																	
区分		省略																																
<u>中国地区</u> 国立大学	件数																																	
	金額（千円）																																	
その他大学・企業等	件数																																	
	金額（千円）																																	
合計	件数																																	
	金額（千円）																																	
13	p.84	<p>・各テニユアトラック教員においては、これら研究活動に伴い、優れた研究成果・業績を修めており、・・・</p>	<p>・各テニユアトラック教員においては、これら研究活動に伴い、優れた研究成果・業績を<u>収めて</u>おり、・・・</p>	誤字があったため																														

正誤表（達成状況評価）

14	p.102	〔山口大学学術機関リポジトリ参加大学・高等専門学校数〕	〔 <u>山口県大学共同リポジトリ</u> 参加大学・高等専門学校数〕	記載内容に誤りがあったため																
15	p.102	・山口県遺跡資料リポジトリについては、2015年度（H27）から、国立文化財機構奈良文化財研究所奈良文化財研究所が管理運用する・・・	・山口県遺跡資料リポジトリについては、2015年度（H27）から、 <u>国立文化財機構奈良文化財研究所</u> が管理運用する・・・	誤字があったため																
16	p.115	〔課題解決型インターンシップ一覧〕 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">プログラム名称</th> <th style="width: 50%;">連携相手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！</td> <td>(株)丸久</td> </tr> <tr> <td>・集客施策の企画実施@TUTAYA 宇部店</td> <td>山口産業(株)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">省略</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名称	連携相手先	・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！	(株)丸久	・集客施策の企画実施@TUTAYA 宇部店	山口産業(株)	省略		〔課題解決型インターンシップ一覧〕 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">プログラム名称</th> <th style="width: 50%;">連携相手先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！</td> <td>(株)丸久</td> </tr> <tr> <td>・集客施策の企画実施@<u>TSUTAYA</u> 宇部店</td> <td>山口産業(株)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">省略</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名称	連携相手先	・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！	(株)丸久	・集客施策の企画実施@ <u>TSUTAYA</u> 宇部店	山口産業(株)	省略		脱字があったため
プログラム名称	連携相手先																			
・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！	(株)丸久																			
・集客施策の企画実施@TUTAYA 宇部店	山口産業(株)																			
省略																				
プログラム名称	連携相手先																			
・「山口ゆめ花博」で記憶に残る特製弁当を開発！	(株)丸久																			
・集客施策の企画実施@ <u>TSUTAYA</u> 宇部店	山口産業(株)																			
省略																				
17	p.119	・・・2018年度（H30）に周防大島町との連携をテーマとした課題解決型プロジェクトにおいて、・・・	・・・2018年度（H30）に周防大島町との連携をテーマとした <u>課題解決型プロジェクト</u> において、・・・	誤字があったため																
18	p.126	・「維新 150 周年記念国際シンポジウム」を契機に、エジンバラ大学とは学生交流、リモートセンシング技術の応用研究・獣医学の分野での連携を確認し、同年 11 月に国際交流協定を締結した。	・「維新 150 周年記念国際シンポジウム」を契機に、エジンバラ大学とは学生交流、リモートセンシング技術の応用研究・獣医学の分野での連携を確認し、 <u>2018 (H30) 年</u> 11 月に国際交流協定を締結した。	記載内容に不十分な点があったため																